

《目的・構成》

- ・ 目的：阪堺線の再生・活性化を図るため、第三者が参画し、支援策等の検証や施策の見直し、活性化に向けた取組などについて、検討を行うことを目的とする。
- ・ メンバー：学識経験者、沿線企業、商工関係者、市民 等



《検討内容》

【支援策等の検証】

- 利用者拡大策の効果検証（利用者増加数、収支）
- 活性化策の進捗状況の検証 等

【施策の見直し】

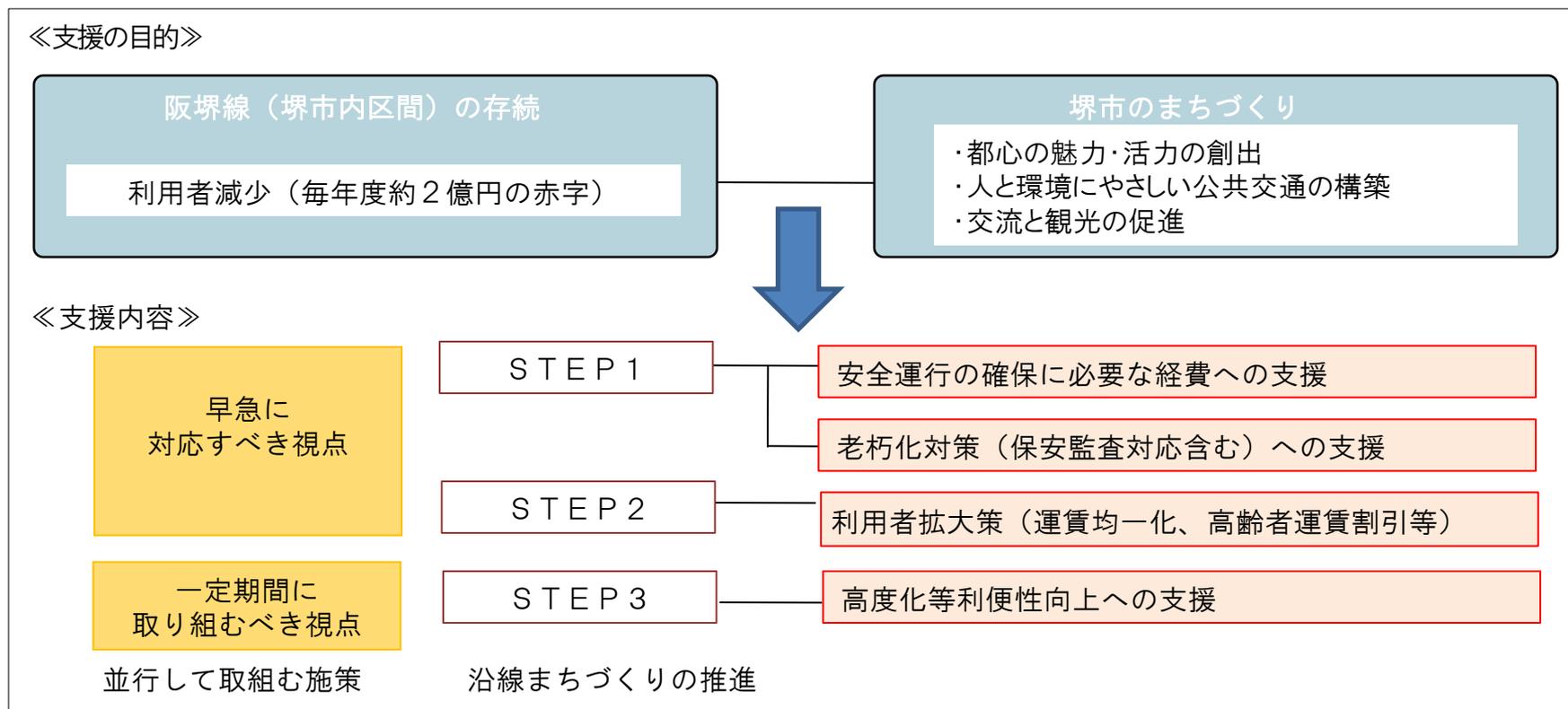
- 効果的な施策の検討
- 先進事例の研究 等

【活性化に向けた取組の検討】

- 阪堺線の利便性向上施策の検討 等

堺市は検討内容を聴取し、今後の阪堺線（堺市内区間）の支援策検討において活用する。

支援の目的	検証の考え方	検証項目（案）
阪堺線の存続	安全運行が図られているか	施設の改修状況（直接的評価）
	利用者拡大が図られているか	利用者の増加状況（直接的評価）
	収支は改善されているか	阪堺電気軌道（株）の収支（直接的評価）
堺市のまちづくりへの寄与	まちづくりの効果が出ているか	施設等への来街者数等（直接的評価）
		市民・来街者の評価等（間接的評価）





平成23年7月30日

(第1回)

- ① 阪堺線存続の検討経緯等
- ② 利用者拡大策実施後の利用者数等（平成23年1～6月）
- ③ 沿線アンケート結果
- ④ 活性化策の取組み状況について
- ⑤ 活性化に向けての意見交換

秋頃

全数の交通調査

平成24年2月（予定）

(第2回)

- ① 利用者拡大策実施後の利用者数（平成23年1月から1年間）
- ② 利用者拡大策の施策毎の効果
- ③ 活性化策の取組み状況について
- ④ 高度化に向けての進め方

平成24年7月（予定）

(第3回)

- ① 収支改善効果
- ② 施設の改修状況
- ③ 今後の利用者拡大策について

※概ね10年の中間年である5年を目途に検証の総括を実施